



豆腐ハンバーグとカレースープ又は味噌汁を作りました。パパの口から「大変だな～」という言葉がこぼれていました。

8組のご家族が、少し緊張しながら、パパ、ママそれぞれの講座を楽しみ、最後は合流しパパの作ったランチと離乳食に舌鼓。赤ちゃんも、ママもにこりの講座でした。

平成25年10月13日(日)に
『パパ離乳食&ママベビーマッサージ教室』を開催しました。

かがやく女性

題字
福井県知事 西川一誠
第36号

発行者
(公財)ふくい女性財団



ポタージュ状??って
どれぐらいの固さかな。



離乳食講師
福井愛育病院 管理栄養士 相木祐子氏

離乳食には初期・中期・後期があるんだ～。

いつも忙しくしているママは赤ちゃんに優しくマッサージ。ゆったりとした時間が流れました。



ベビーマッサージ講師
は～とたち 田崎ひろみ氏

..... イベント

ふくいきらめきフェスティバル 6/22

ふくいきらめきフェスティバル2013

～いつきらめくの? 「今」 でしょう!!～

記念講演に株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長の小室淑恵氏を迎えワーク・ライフバランスのコツなどを分かりやすくお話いただきました。

また、「女の言い分、男の言い分」のワークショップでは、男女の言い分について意見交換を行いました。

多くの体験コーナーを設けて親子連れなど1000人以上の方々に参加でにぎわいました。



..... 講座

キャリアアカデミー

【前期】 8/22・23

“第一印象”で勝負する! ワンランク上のビジネスマナー研修
女の強みを活かす! ワンランク上のリーダーシップ・マナー研修

講師: 株式会社マネジメントサポート

研修講師 出川 景子 氏

プラスαを盛り込んだ実践的な内容のビジネスマナーと、女性リーダーに求められる立場・役割や必要な基本スキルを習得しました。今さら聞けないマナーの基本から応用までを学びました。



【後期】 9/19・20

ユーモア力で相手の心を動かす「プレゼンテーション研修」
～自分を表現する～ / ～チームで表現する～

講師: 有限責任事業組合 笑いプロジェクト

代表 堀 登志子 氏

笑いを取り入れた自己表現術と、相手を和ませる笑いを活用したチームプレゼンテーション術を実践的に習得しました。



こんなイベント・講座
を実施しました!!



..... 講座

働く女性の能力アップ応援

【コース1】 5/21・29

ビジネス・コミュニケーション

～“聴く”スキルと“聞く”スキル～

【コース2】 6/1

モチベーションUPセミナー

～モチベーションをあげて目標達成!～

講師: 株式会社Office・CanDo

代表取締役 宮永 満祐美 氏

ビジネスに必要な傾聴スキルと、心理学の考え方を取り入れた、自己モチベーションをコントロールする方法をゲーム感覚で楽しく学びました。

「意識が変わって、人とは違って当たり前と思えた」などの感想がありました。



..... 講座

ハッピーキャリア 8/31

マイナスをプラスに変える!

～女性のためのストレス管理術～

講師: 有限会社Cマインド

代表取締役 長谷川 能扶子 氏

女性が生き生きと働き続けるためのリフレッシュ方法や自分らしい生き方のヒントやストレスと上手につきあうコツを学びました。



..... 交 流 会

働く女性の交流会 11/28

働き女子のホンネ交流会

県内で働く女性が楽しく食事をしながら、仕事等の情報交換や女性ならではの悩みを気軽に語り合いました。

交流会では、「気持ちよく働くための家族とのコミュニケーション方法」「ストレス解消法」などのテーマについて日々の生活に役立つ工夫等を語り合いました。



..... 講 座

ハッピーキャリア 12/8

印象美人の作り方講座

～お仕事もプライベートもハッピーに～

講師：有限会社シンビプロジェクト

SHINBI主宰・印象戦略家 ちとせ氏

自分の印象を戦略的に演出するセルフプロデュース術や、表現力を高めるための適切なスマイルづくりと発声の基本、自分を好印象に見せるコツなどを多方面から学びました。



..... イベント

家事チャレンジイベント 11/17

暮らしを楽しむプチ講座

～網戸の張替え、「手」を使うお手伝い、
タイプ別片付け指南～

講師：武生アルナ販売株式会社

取締役社長 松本 典之 氏
家事セラピスト 松本 照美 氏

専門家による網戸の張替えの実践や家事セラピストからのお片づけタイプ診断、お手伝いに関する親子での「つぶやき」を出しあうなど、たくさんの親子連れが楽しみました。



..... 講 座

キャリアアップ応援

「伝える技術」を磨く！

【コース1】 10/23・30

「人前での話し方入門講座」

～自分に自信をつける～

【コース2】 11/2

「人を動かす話し方講座」

～ロジックとパッションを味方につける～

講師：株式会社Woomax

取締役 佐野 愛子 氏

コース1ではあがり症克服のためのトレーニング法や話し方・伝え方の基本的な技術などを、グループワークを交えながら楽しく学びました。

コース2ではお互いの価値観の違いを知り、個性を活かした伝え方や、論理的ながらも感情をうまく表現した伝え方などを、チームに分かれ実践的に学びました。



一般社団法人 ガールスカウト福井県連盟

ガールスカウトは、「自分自身と他の人々の幸福と平和のために、自ら考え、行動できる人となるように、実践的な活動プログラムを通して、一人ひとりの力を伸ばしていく」世界最大の社会教育運動です。

毎年二月二十二日に、世界中のガールスカウトが「ワールドシンキングデー」を開催します。ワールドシンキングデーは、私たちの国際的な運動を祝うとともに、重要な問題について学び、行動を起こし実施する機会です。

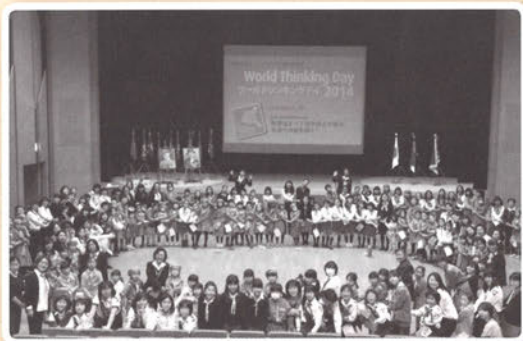
福井県連盟は、二月二十三日アオッサ県民ホールに県内会員が集まり「教育はすべての少女と少年の未来への扉を開く」をテーマにシンキングデーを開催しました。県連盟長天谷早苗が「教育は、あきらめず最後までやり抜く力を培う場、教育を受けられる環境に感謝しましょう。」と呼びかけました。

活動発表では、福井市社地区二十八団は、公民館の季節ごとの花壇の世話が続けた報告、坂井市春江地区二十団は、かしこコンクールに参加した取組みを寸劇で報告、福井市酒生地区四団は、ハンドベルでスカウトソングを披露しました。福井市順化地区九団所属の稲田朋美内閣府特命大臣も会員として参加、「大臣になつてからも、英語を勉強して、海外では英語でスピーチできるまで努力しました。」と少女たちにチャレンジする気持ちの大切さをやさしく話されました。

この日は、一般からの三十五名も参加し、参加者二四〇名全員で昼食を取り、午後からは小中高生に分かれ、「学校って楽しいね」「大きくなったら何になりたい」「教育には壁がない」の各テーマに沿った課題で、ゲームを取り入れたアクティビティを行いました。

一般参加者から、たくさんの入会希望があり、大きな成果をあげることができました。

スカウト活動は、一般社団法人ガールスカウト福井県連盟のホームページを検索ください。



さばえ男女共同参画ネットワーク

さばえ男女共同参画ネットワークは平成二十年五月に設立され、現在、区長会連合会、連合婦人会など市内の主要な二十三団体が加盟しています。

男女共同参画の拠点である「夢みらい館さばえ」に事務局を置き、男女共同参画フェスタの開催、情報紙「ばーとなー」の発行、朗読劇や研修会などの事業を企画・運営しています。

平成二十五年には、新たに市議会傍聴を研修の一環として取り入れ、生の議論を目の当たりにすることで、私たちは言いつに及ばず、理事者や市議会にとっても活気のある取り組みができたと感じています。

また、十一月に開催した「女と男輝くさばえフェスタ」は、各委員が活発な意見を交わしながら内容の検討を重ね、丁寧な努力が素晴らしい成果に結びつきました。

当ネットワークでは、「家庭が変われば地域も変わる」を合言葉に、これからも老若男女を問わず、夫婦、家族で参加できる事業を通して、お互いを思いやり、地域の結束力を高める男女共同参画意識の浸透を図っていきたいと考えています。



(公財) ふくい女性財団

会員を募集しています!!

当財団では男女共同参画社会の実現をめざし、H25年度からは働く女性の活躍応援を新たな目標として事業を展開しています。

働き女子の交流会、働くママの茶話会、親子で家事チャレンジ講座、男性の家事講座など、働く女性や親子が交流し、学び、楽しめる企画を予定しています。

財団会員になって、講座・セミナーや交流会に参加したり、イベントやワークショップ等を企画運営してみませんか?

興味のある方は、ふくい女性財団までお問合せ下さい。

ふくい女性財団会員

財団の目的に賛同いただけるグループ・団体等であれば、どなたでも会員になれます。

●会費 1口 年額 5,000円

●団体参加イベント

みんなで運営・発表・参加する

「きらめきフェスティバル」を毎年開催。

会員の特典

・グループ・団体の活動で財団補助金を利用できます。

(1団体 最大15万円 ※審査あります)

・当財団が主催する講座、セミナー等のご案内

・当財団が発行する機関誌等



きらめきフェスティバル2014

日程：2014年6月22日(日)

場所：鯖江市嚮陽会館

鯖江市で開催!!

企画してほしい講座があったら、教えてね!

財団QRコード



国際ゾンタ福井クラブからの寄付金授与

12月4日に国際ゾンダ福井ゾンダクラブの第27回チャリティパーティーが開かれDV被害者の自立支援の一助とする目的で当財団へ寄付が行われました。心からお礼申し上げます。



「かがやく女性」クロスワードパズル

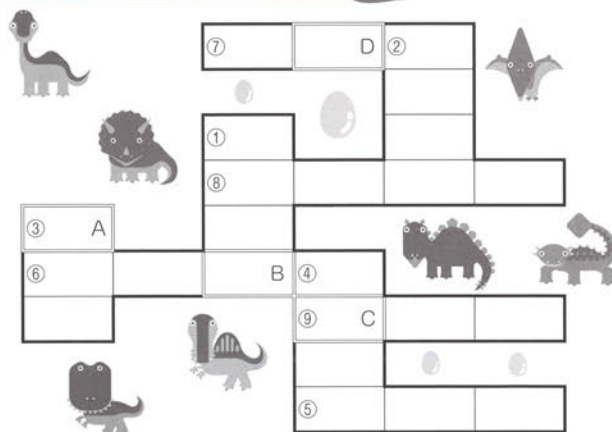


タテのカギ

- ①この機関紙の発行者は、公益財団法人ふくい女性〇〇〇〇
- ②平成25年10月13日の講座のタイトルは、「パパ〇〇〇〇食&ママベビーマッサージ教室」
- ③平成26年6月22日のきらめきフェスティバルの開催の市は〇〇〇市
- ④いまかがやいています ワールドシンキングディを開催した団体は、ガール〇〇〇〇

ヨコのカギ

- ⑤平成25年10月13日の講座でパパが作ったのは、〇〇〇ハンバーグとカレースープ又は味噌汁
- ⑥きらめきフェスティバル2013の記念講演は小室さんからワーク・ライフ〇〇〇〇のコツを分かりやすく話してくださった
- ⑦平成26年度事業計画の男女共同参画推進講座は、男女が互いの理解と協力のもとに男女共同参画社会〇〇〇を促進するための講座
- ⑧知育教材「きょうりゅう将棋」を企画開発・商品化した方の名字は平仮名で〇〇〇〇さん
- ⑨福井県済世会病院に勤務されている女性診療センター産婦人科医長の名字は、平仮名で〇〇〇〇さん



の4文字(A-B-C-Dの順)を使って言葉を完成させてください。正解者の中から3名の方に、「きょうりゅう将棋」をプレゼントします。ハガキやメールで、答え、住所、氏名、年齢、機関紙の感想、取り上げてほしい記事などを明記し財団まで応募してください。(応募期間～5月末まで)

当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

知育教材「きょうりゅう将棋」を企画開発・商品化した

いしうちななえ



子どもが親しみやすい可愛い恐竜のキャラクターがデザインされた紙製の知育教材「きょうりゅう将棋」をご存知ですか？福井市の紙加工メーカーが、二〇一二年に販売を開始した人気のボードゲームです。

「きょうりゅう将棋」を企画・商品化した石内さんを職場に訪ねました。石内さんは小学一年生の時に将棋を習い始め、大学時代にはアマチュア女流タイトル七冠と華々しい経歴を持っています。

◆将棋に興味を持ったきっかけは？

父が近くの将棋道場に通っていて、一緒に通うようになり、小学二年生の時に父に勝ちました。練習すれば強くなるし、おじちゃんばっかの中で楽しかったんです。

◆大学時代は華々しい活躍ですが、プロにはならなかったんですね。

プロに魅力を感じなかった。男性上位の世界（今は少し変わってきましたが）で、プロの女流棋士と男性棋士とは待遇の面などで格差があり、将棋以外の可能性を試したいという気持ちの方が強くなりました。

◆「きょうりゅう将棋」を開発するきっかけは？

職場を通じて、「ママさん目線で何かできないか」と考えていく中で生まれ

ました。子どもの「教育」「知育」は子育てママの大きな関心事ですから。

遊び方などは私が考えましたが、恐竜のデザインなどの商品化にあたっては県内のプロに聞かしてもらいました。自分だけの考えでは、絶対いいものはつくれません。パッケージの箱もお片づけしやすいように工夫しました。

◆「きょうりゅう将棋」をどのように利用してほしいですか？

今の子ども達は一人の世界に没頭するゲームをして、家族とのコミュニケーションが不足しています。「きょうりゅう将棋」を使って、家族で「ミニゲーム」をとってほしいですね。

◆石内さんにとって「きょうりゅう将棋」とは？

心機一転して福井に戻ってきて、キャリアウーマンとして成功するきっかけになりました。

◆今後の目標は？

幼児教育のスペシャリストになり、子どもを育てていく親子の環境を整えていきたいと思っています。第二弾・第三弾の知育教材をつくりたいです。

高校一年生のとき、羽生善治四冠（当時）に挑戦するテレビ番組に出演し、挑戦者六人の中でただ一人勝利したという逸話もある石内さん。目を輝かせて次の目標に向けてお話される姿に、若い女性が活躍できる福井のいきいきした未来を感じました。

福井県済生会病院 女性診療センター産婦人科医長

かわのくみこ



出産、育児で仕事復帰を悩んでいるときに、「笑顔で働いてくれば、それだけでよい」と上司に励まされ、平成二十一年、女性医師の仕事復帰支援を活用し復帰されました。そんな河野先生にお話を聞かせていただきました。

★家族構成を教えてください

夫、六歳の長男と四歳の長女の四人家族（核家族）です。

★医師になったきっかけは？

父が医師でありましたが、高校生まではどちらかというと文系でした。外国に興味があり、国際関係の仕事につきたかったのですが、中学生の時に祖父から言われた最期の言葉、「一人に役立つ人間にならなさい」がずっと胸に残っており、医師となりました。

★仕事と家事、育児の両立について

核家族なので文明の利器をフル活用し、100%完璧にしようとは思わないようにしています。また、夫が家事や育児に積極的に参加してくれているので、感謝しています。子供との会話も大切にしています。通勤を徒歩にすることで歩きながら気持ちの切り替えや頭の整理をして、ワークライフバランス（注1）に心掛けています。

★改善されると良いと感じることはありますか？

福井は子育てがしやすいので、あまり改善してほしい点はありません。ここ十年、五年で大きく環境が変わってきて感謝しています。保育園や学童保育のさらなる充実があると嬉しいです。また、済生会病院のような働きやすい職場が福井・日本に増えていくと良いなと思います。私は働きやすい環境をつくっていただき、無事に復帰できましたので、ほかの医師に何かがあった時は、私もサポートすることで恩返ししたいと思います。

福井県済生会病院は、平成十九年に女性医師を含むすべての医療従事者にやさしい病院として北陸で初めて（ホスピタリティ）認証を受け、平成二十三年「ワーク・ライフ・バランス大賞」、平成二十四年に「カエルの星」賞を内閣府より受賞しています。

ワークライフバランス（注1）

自らの人生観を軸に、ワーク（職業生活）とライフ（個人生活）を柔軟、かつ高い次元で統合し、双方の充実を求めること。それによって、生産性や成長拡大を実現するとともに生活の質を高め、充実感と幸福感を得るなどの相乗効果を目指す働き方をいいます。これまでの「ワーク・ライフ・バランス」の発想を一步進めたと考えられます。

発行者

（公財）ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館（ユー・アイふくい）2階
TEL：0776-41-4254 FAX：0776-41-4260
E-mail：fujho-zai@iaa.itkeeper.ne.jp
URL：http://www.f-jhosei.or.jp

編集後記

「クロスワードパズル」いかがですか。「かがやく女性36号」をじっくり読めば、正解が見つかりますよ。皆さま、奮ってご応募ください。次号も、お楽しみに。

